

大船渡市議会

議長 熊谷昭浩 様

視察報告書

改革大船渡

平成 29 年 6 月提出

改革大船渡視察報告書



文部科学省において ILC に関する研修を行っている様子

○日 時 平成 29 年 5 月 28 日～30 日(視察にあたり 5 月 22 日第二委員会室において事前研修を行った)

○参加者 改革大船渡 船野章、平山仁、船砥英久 無会派 金子正勝

○目 的 復興事業後における産業振興に資する政策課題を調査・要望するため
(ILC や港湾振興、対国要望の進捗等を確認)

○5月29日(月) 午前9時衆議院議員第二会館 704号打ち合わせ～午後17時半まで

1、復興五輪を活用した地方振興策について

【研修先等】 内閣官房 東京2020年競技大会推進本部事務局

羽生内閣参事官、金子参事官補佐他

【研修場所】 内閣府本府 3階 特別会議室

【主な内容】



○冒頭、参事官より資料説明○

Q、ホストタウンのハードルは高いものか

A、秋田県内など広域で取り組んでいる例もある。東京五輪は過去最高の参加国であり、ターゲットを明確にすることが大切。まだ決まっていない国も多い。地域活性化のために使ってほしい。ホストタウンは事前合宿が必須ではなく、試合終了後にフラッと街を訪れるなど大会後の交流も可能。財源については交流事業が1/2、既存施設改修は9割起債の3割交付税措置。

Q、Beyond プログラムは

A、文化面を発信するプログラム。障害者または外国人のいずれかを含む事業。

幅広い団体の申請が可能なのが特徴。

2、地方創生拠点整備交付金について

【研修先等】 内閣府 地方創生事務局 内閣府地方創生推進事務局後藤参事官補佐他

【研修場所】 内閣府本府 3 階 特別会議室

【主な内容】



○冒頭、後藤参事官補佐より申請の地方創生拠点交付金については交付決定となった旨の説明あり。

Q,クラブハウスは対象になりありがたい。照明は対象にならないものか

A,前例がなく、なぜ対象となるのか、どのような目的なのかを明確にする必要がある。

Q,対象にするにはどのような例が考えられるものか

A,地域独自のプライオリティが必要。拠点交付金は補正により対応しているが、夏以降には地方創生推進交付金が予定されている。

これは、主にソフトが対象であり5年間にわたり持続的に支援する制度。イベントにも活用できる。

照明を設置することで地域の交流が活性化することが必要。

3、地方港を活用した外国クルーズ船寄港による観光振興策の方向性について

災害に強い大船渡港の整備について

【研修先等】 国土交通省 港湾局 国土交通省港湾局津田官房技術参事官他

【研修場所】 国交省本館(合同庁舎 3 号館)8F 813 会議室

【主な内容】



Q,平成 29 年度要望では大型外国クルーズ船で要望している。その後実態を検討したところ当港湾は防波堤幅、湾口幅が狭いうえ港湾施設の充実が必要。要望に対してどのような見解をお持ちか。

A,大船渡港は幅が狭いうえに当初は養殖施設への課題も存在した。岩手県の場合は 4 港存在していることから管理者と方向性について話し合うことが重要である。

Q,一度要望したものを取り下げた場合の対応は

A,要望は自由であり、文言を工夫しながら長年に渡り要望している自治体も多い。

Q,耐震強化岸壁については

A 野々田ふ頭など大船渡港は先の東日本大震災においても比較的強固な岸壁であったと思う。

管理者と相談するのが重要。

4、三陸縦貫自動車道に接続する新たなインターチェンジ(仮称・大船渡中央インターチェンジ)の整備促進と地元負担について

【研修先等】 国土交通省 道路局 国土交通省国土交通省道路局石川道路局長他

【研修場所】 国交省本館国交省本館(合同庁舎 3 号館)1F 131 会議室

【主な内容】



Q、国では新たなインターチェンジについては基本的に整備しない方向と伺っている。要望の箇所は約 25 億円、総合整備交付金 55%、8 億数千万が当市の負担。財政上の軽減策は。

A、全国の要望の 55%を補うことから交付金が満額出るものではない。私も三陸に居たから地形も知っている。高低差のある難しい箇所だ。

Q、要望から 6 年がたち一定の方向を見定める時期かもしれない。復興と通常事業と切り離す必要は。

A、何十年も要望をしている道路もある。要望をしたからと言ってすぐに出来るものもない。文言を変えつつ中長期的な課題とするのも一つでは。

5、復興交付金の活用について、※漁港占用料、災害公営住宅間の移動について

【研修先等】復興庁吉野復興大臣他 橋本衆議院議員同行

【研修場所】復興庁（合同庁舎４号館）10F 大臣室

【主な内容】



- ・復興交付金の柔軟な活用について
- ・漁港占用料の減免措置の継続について
- ・災害公営住宅間の移転緩和策について
- ・気仙法テラスについて等

6、国際リアコライダーの現状について

【研修先等】 文部科学省原子核研究推進室加速器科学専門官吉居真吾氏
研究推進係長堀之内豊氏他

【研修場所】 文部科学省旧庁舎 1F 第 1 応接室

【主な内容】



- ・政府決定時期の報道等について
- ・日本学術会議の報告書について
- ・有識者会議の意義について
- ・今後の日程について
- ・港湾を利用した資材の荷揚げや道路整備について

詳細別紙 2(非公開)

7、三陸復興国立公園碁石海岸穴通磯への通路バリアフリー化について

【研修先等】 環境省自然環境局亀澤局長他

【研修場所】 環境省（合同庁舎5号館）自然局長室

【主な内容】



Q,当市要望の穴通し磯へのバリアフリー化歩道整備の進捗は

A, 現在、地元の環境保護局等で当該地域の活用に関する計画を作成していると伺っている。

Q,国直轄で要望しているが

A,現地の計画を見定めて検討したい。

Q 当市の代表的な観光地であり、当市全体の観光客入込数も下がっていることから検討を深めてほしい。

A,以前訪れたこともある。計画の中で検討していきたい。

8、JR 大船渡線の BRT による本復旧に伴う利便性向上策について

【研修先等】 JR 東日本執行役員 大口豊氏

JR 東日本 総務部次長 澤田博之氏

【研修場所】 会館 704 号室

【主な内容】

○冒頭、執行役員から当市からの改善要望 5 項目について説明○

Q,新駅設置については

A,市からは 2 箇所伺っている。現在は 8 駅増加し 20 駅になっている。

Q,速達性の確保策については

A,新幹線を軸にダイヤ改正を少しずつ行っている。過日の摺沢までの臨時バスで 30 分短縮できた。

なぜ一関ではなく摺沢までかと言うと、運転手さんの労働時間の制限によるもの。一方、乗降客が多いものではないが、夏ごろに臨時バスの取り組みを行い検討を深めたい。

Q BRT の延伸については

A,現在も岩手県交通に委託しているが、地域の交通体系を関係者と深める必要がある。

Q,観光振興については

A,これまでも各地で産直や「のもの」など三陸産を P Rしてきた。これからも長く続けていきたい。

Q,ワールドカップ等への対応は

A,現在、BRT については考えていないが今後検討したい。

Q,我々に望むことは

A,個人的な意見として、公共交通を使ってまちづくりや維持につながるもの考える。

9、東日本大震災復興加速化本部への要望と御礼

【研修先等】 東日本大震災復興加速化本部事務局長 谷公一衆議院議員

橋本衆議院議員同行

【研修場所】 谷事務所（2-810 号室）

【主な内容】



- ・当市の特性や特産物を活かした特区構想について
- ・国際リアコライダーの党内の状況について
- ・国際リアコライダーに伴う道路整備について
- ・当市訪問の御礼他

○5月30日(火)

午前10時40分～13時32分まで

1、東京オリンピックパラリンピックの事前合宿の推進について

【研修先等】 一般社団法人全日本テコンドー協会専務理事阿部海将氏、事務局長代理山下諒氏他

【研修場所】 岸記念体育館、日本財団パラリンピックサポートセンター

【主な内容】



- ・事前合宿への取組みや財源について
- ・復興五輪を活用した地域活性化について

2、衆議院議員本会議傍聴

- ・国家戦略特別区域法及び構造改革特別区域法の一部を改正する法律案（内閣提出）
- ・文化芸術振興基本法の一部を改正する法律案（文部科学委員長提出）
- ・特定船舶の入港の禁止に関する特別措置法第五条第一項の規定に基づき、特定船舶の入港禁止の実施につき承認を求める件等の議案審議を見学

※各省庁等の調整は橋本衆議院議員事務所村田・今岡秘書に対応していただいた。

大船渡市議会会派視察日程

日時				備考①	備考②
5月28日 (日)	12	:	30	市役所集合発	自家用車
	14	:	38	水沢江刺駅発	新幹線やまびこ 50 号
	17	:	24	東京駅着	移動(徒歩)
					京王ブレッソイン大手町 【住所】東京都中央区日本橋本石町 4-4-1 【電話】03-3241-0202
	18	:	30	夕食	
5月29日 (月)	8	:	10	ホテル発	移動(タクシー)
	9	:	00	集合	衆議院第二議員会館 704 号
				研修別紙 1	
	16	:	30	JR 東日本旅客鉄道株式会社 レクチャー	衆議院第二議員会館 704 号
	17	:	00	谷公一自民党復興加速化 本部事務局長	衆議院第 2 議員会 810 号室
5月30日 (火)	09	:	20	ホテル発	移動 東京駅⇒原宿駅下車⇒徒歩
	10	:	40	公益財団法人日本オリンピ ック委員会視察/	オリンピック委員会広報委員 阿倍海将氏 【住所】渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内 【電話】03-3481-2298
	12	:	00	日本財団パラリンピックサ ポートセンター視察	移動(タクシー)
	12	:	30	衆議院第二議員会館 704 号	徒歩
	13	:	00	衆議院本会議視察	
	14	:	36	新幹線	やまびこ 55 号
	16	:	24	水沢江刺着	
	18	:	00	市役所着	

別紙 1

時間		要望先	対応予定者	面会場所
9	00	※9 時に橋本事務所(第 2 議員会館 704 号室)集合		
9	30	内閣官房	東京オリパラ競技大会推進本部 事務局 羽生内閣参事官	内閣府本府 3 階 特別会議室
9	45	内閣府 地方創生事務局	内閣府地方創生推進事務局 後藤参事官補佐	内閣府本府 3 階 特別会議室
10	15	国土交通省 港湾局	国土交通省港湾局 津田官房技術参事官	国交省本館(合同庁舎 3 号館) 8F 813 会議室
10	50	国土交通省 道路局	国土交通省道路局 石川道路局長	国交省本館(合同庁舎 3 号館) 1F 131 会議室
11	30	復興庁	吉野復興大臣	復興庁(合同庁舎 4 号館) 10F 大臣室 ※案内あり
12	00	※昼食		
13	45	文部科学省	原子核研究推進室 加速器科学専門官 吉居真吾氏 研究推進係長 堀之内 豊氏	文部科学省旧庁舎 1F 第 1 応接室 ※案内あり
14	35	環境省	環境省自然環境局 亀澤局長	環境省(合同庁舎 5 号館) 自然局長室 ※案内あり
15	15	JR 東日本	JR 東日本執行役員 大口豊氏 JR 東日本 総務部次長 澤田 博之氏	会館 704 号室
16	30	東日本大震災復興加速化本部	事務局長 谷公一衆議院議員	谷事務所(2-810 号室)
17	50	※橋本事務所戻り		

※調整:橋本事務所(村田, 今岡)